図書館協議会会議録

１　会議の名称	令和７年度第３回富津市図書館協議会
２　開催日時	令和８年１月 28 日（水） 午後２時 30 分～午後４時
３　開催場所	富津市役所５階　401 会議室
４　審議等事項	議題 （１）令和７年度事業報告について （２）令和８年度事業計画（案）について
５　出席者名	○出席委員 財前　司、増田千春、杉田玲子、重田寿子、 藤井和子、吉田侑季、米村志朗、山﨑みち子、 矢上美知子 ○事務局 中山教育部長、篠田生涯学習課長、 長谷川公民館長、鈴木係長、 網代主査、伊藤社会教育主事 ○指定管理者（㈱図書館流通センター） 須藤図書館長、清水エリアマネージャー、 大河原、安齋
６　公開又は非公開の別	公開　・　一部非公開　・　非公開
７　非公開の理由	
８　傍聴人数	１名（定員 10 名）
９　所管課	教育部生涯学習課社会教育係
１０　会議録（発言の内容）	電話　0439-80-1345

令和７年度　第３回　図書館協議会会議録

発言者	発言内容
篠田課長	皆様、こんにちは。委員の皆様方におかれましては、本日はご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。 本日、会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の篠田と申します。よろしくお願いいたします。 それでは、会議開催前に担当より配布資料の確認をさせていただきます。
鈴木係長	【資料確認】
篠田課長	それでは、ただいまから、令和７年度第３回富津市図書館協議会を開会いたします。 はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。９名の委員のうち、出席委員は９名全員でございます。従いまして、富津市立図書館条例施行規則第 20 条第５項の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立していますことをご報告申し上げます。 続きまして、会議の公開についてですが、本日１名の傍聴者がおりますことをご報告させていただきます。 また、会議録作成のため、録音させていただきますのでご了承願います。 それでは、はじめに、杉田会長からご挨拶をお願いいたします。
杉田会長	それでは皆さん、こんにちは。 いよいよ今年度の第３回目ということになりました。 第２回の図書館協議会のときに、皆様とともに過ごした時間がその後、有意義な本日意見の協議に発展することを願っていますので、どうぞ皆さんご協力の方よろしくお願いいたします。
篠田課長	ありがとうございました。 それではここからは、富津市図書館条例施行規則第 20 条第４項の規定によりまして、会長に議長となっていただき、進行をお願いしたいと存じます。 杉田会長、よろしくお願いいたします。
杉田会長	それでは、ここからは私が議事進行を務めさせていただきます。円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。 議題に入る前に、会議録署名人を指名させていただきます。 重田委員と藤井委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 それでは、議題に入ります。 （１）令和７年度事業の進捗について、事務局より、説明をお願いします。
須藤館長	それでは（１）令和７年度事業の進捗につきまして図書館長の須藤から報告をさせていただきます。 令和７年度事業計画として承認された事業は、年間を通じて行う通年事業が28、地域連携を中心とした支援事業が３つございました。この２つを大きな事業計画として協議会に提出させていただき承認されています。

	今年度はその２つに加え、独自事業として期間限定の期間事業、その他の新規事業、この４つを運営してまいりました。この４つにいてポイントを絞って説明をさせていただきます。 最初に【通年事業】について説明をさせていただきます。こちらは計画の 28 事業に対し､27 事業を実施しております。 「１　お話会」から簡単に状況を説明しますと、毎月第１、第３土日と第１第３月曜日が祝日にもおはなし会を開催し、９カ月間で計 38 回実施して、292 人の参加があり、平均にしますと１回に８人から９人の参加となっております。こちらは土日ですとイオンでのイベントと重なることも多く、時間帯が合わないこともありますが、それでも平均８人というのはかなりの参加人数だと思っています。 「２　お話会スペシャル」は、第１日曜日、第３土曜日に通常のお話会の後に紙芝居ボランティア「ありの実」に来ていただき、紙芝居や手遊び等をしていただいています。こちらも全 16 回 131 名の参加と、お話会の流れでそのまま紙芝居も参加いただいておりますので、同じような人数になります。 「３　お話会スペシャル（その他）」につきましては、特別なイベントとして今年度は、イオンモールの SDGs 週間が６月と９月にございまして、それに合わせて「SDGs おはなし会」を開催しました。SDGs に関する絵本を選びまして、全部で３回 17 名の参加をいただいております。 「４　はじめてのおはなし会」については、毎月の第１、第３月曜日に開催しております。こちらは当初なかなか人が集まらなかったのですが 10 月から「ふっつ子育て LINE」で告知をしたところ、多くの赤ちゃん連れの保護者の方に集まってもらうことができまして、現在は立ち見が出る状況になっています。おはなしの部屋はお子さんと一緒に座ると、大体８家族ぐらいでいっぱいになってしまいますので、２家族くらいは外から一緒に見ているというような状況が起きています。 「５　職場体験の受入れ」については、ちば南部地域若者サポートステーション、和洋女子大学、イオンモールで９月に実施したお子さん向けの職場体験の３つの実習を受け入れております。こちらにつきましては比較的好評で、特にちば南部地域若者サポートステーションから研修に来ていただいた方は引き続き８月以降も図書館のスタッフとして働いてもらっております。 もう一つ「６　職場体験の受入れ」は、イオンモール１階の放課後デイサービス　ベルテールがございます。こちらは月２回、計 18 回 193 名のお子さんが来ています。やっていただいているのは本の配架ですとか、自分の好きな本を選んで POP を書いてもらって展示しております。このお子さんたちが選んだ本がけっこう人気がありまして、今は半分以上が貸し出されております。この企画は始めたときから人気がありましてどんどん貸し出されている状況でございます。 「７　社会科見学の受入れ」は９団体、347 名に来ていただいております。

	特に、12 月に来ていただいた天羽小学校は全校生徒が１・２年生、３・４年生、５・６年生と３日間にわかれて来ていただきましたが、最初に図書館の使い方の紙芝居を見て、その後に１人１人が自分のカードで好きな本を借りてと、よい見学になったのではないかと思っています。 「８　富津からひらく」は市民からのおすすめの本を紹介するコーナーで、現在 41 冊を展示しております。常時、推薦箱を置いてありまして、推薦のあった本を推薦文とともに紹介しています。 「９　パスファインダー」につきましては令和６年度にオレンジコーナーを作りまして、その際にシニアライフのパスファインダー（調べ方の手引き）を作成しております。今年度につきましては、新しくシニアに関する本を購入しておりますので、内容を更新、改定の作業に入っています。 「10　ぬいぐるみのおとまりかい」は、10 月の秋の読書週間開催しておりまして、13 組 26 名のぬいぐるみが夜にどんな行動をしているかとか、本を選んでいるところを写真に撮ってアルバムにしてお子さんにぬいぐるみをともに渡しております。このような企画は図書館だけではなく美術館でもおこなっており、全国的に非常に人気があるイベントとなっています。 「11　夏休み子ども図書館員」は２日間で９名の参加がございました。小学生の参加者が多かったのですが、本の配架やカウンター業務の体験をしてもらっております。時間が午前中だけとなっていましたので実質 1 時間ほどの短い時間だったのですが、お子さんたちには熱心に取り組んでいただけました。 「12　図書館探検ツアー」は夏休みにお子さんと保護者に集まっていただき、図書館のバックヤードツアーを実施しております。特に閉架書庫は普通なかなか見られないところになっておりますので、それに合わせて図書館スタッフが一生懸命に片付けましたので、綺麗なところを見ていただけました。 「図書館だより」の発行は予定どおり発行しておりまして、一般向けの図書館だよりは３月１日発行予定になっております。 「20　大人向け講座　図書館 cafe」は初年度の図書館協議会の第４回に言われたと思うのですが、子ども向けのイベントが非常に多くて、大人向けのイベントがあまり開催されていないというご指摘をいただきましたので、大人向けのイベントを昨年から実施をしております。その中で「大人のおはなし会」、「大人の広場」、「脳活クラブ」の３つを、３カ月サイクルで回しておりましたけれども、開催してみますと人気があるイベントとそうでないイベントというのが明確になってきておりまして、この辺の対応が次年度以降の課題かと考えております。 「21　本の福袋」は、秋の読書週間に向けて、一般向け、児童向け各 25 セット、計 50 セットの貸出しをしましたが、早いうちに全部借りられまして、とても好評なイベントでした。 「22　つくろ。まなぼ。あそぼ。」はメインとしては富津図書館寄席を令和６年度６月にスタートしてから毎月開催させていただいて、今年の１月で 20 回

	を迎えました。今年度につきましては全部で９回開催して 947 名、平均 105 名ですが、キャパシティは頑張って増やして 117 席は用意できますが、ほぼいっぱいという状況でございます。予約制で、大体 160 名ぐらいの応募がございまして、40 名ぐらいはいつもお断りして、120 名で予約を締め切っているのですが、当日キャンセルが 30％ぐらい出ております。当日どうしても見たいという方もいらっしゃいますので、それも入れて大体 100 名ぐらいになりますが、そのキャンセル対策が課題と思っております。 「23　図書館アンケート」は今年度まだ未実施となっております。未実施の理由につきましては、指定管理者になっている図書館は毎年おこなうところが多いのですが、茂原市立図書館でも経験をしましたけれども、設備面の要望が多いです。富津市でいうと、椅子をもっといいものにとか、ブックポストを設置してほしいとか、図書館の中でカートを利用させてもらいたいとか、そういった要望が出ます。本のリクエストは図書館で対応できますが、ブックポストの設置であるとか、椅子の買い替えといったものは、予算要求をして、次年度の予算となると、その間、毎年アンケートに同じことを指摘され、何もやってくれないとなります。アンケート結果を公開しましても、自分が言ったものが入っているかいないかという判断になってしまいますので、そういったこともあって、生涯学習課とも相談をしまして、２年に１回のアンケートをすることで、結果を見ていただいてからアンケートをすることで、新しい要望も出てきますので、そういった形で進めていきたいと思いまして、今年度につきましてはアンケートは未実施とさせていただきました。 「24　あかちゃんタイム」につきましては、毎週月曜日の午前中は図書館の入口に大きな張り紙をして、この時間帯は赤ちゃんが声を出すかもしれませんがご容赦くださいと、一般の利用者の方にご配慮いただいています。特に第１、３月曜日は初めてのおはなし会が開催されておりまして、立ち見も出るぐらいとなっております。初めてのお話会に集まった方々がコミュニケーションを取ったりと、その輪がどんどん広がっているということもございますので、これは継続して実施していきたいと考えています。 「25　あらゆる人が図書館を利用するために」障害のあるかたや外国のかたへの対応で利用案内の作成や翻訳機の導入をしております。ただ、図書館の利用にあたり、耳が悪い、目が悪いというのはわからないこともございまして、機器についてはまだ一度も利用がないという状況です。また外国人対応では、10 月 12 日に台湾の東海大の教授の方がいらっしゃったんですが、話せるのは広東語のみ、英語は何とか、という状況でしたが、メールのやり取りは AI の翻訳を使って対応しまして、当日はイオンモールのスタッフで、上海出身で転勤になったという方がいらっしゃいまして日本語も英語も広東語も北京語も話せるという方がいらっしゃいましたので、その方に通訳をお願いして実施したのと、もう１人の方は英語が喋れる方でその方については海外留学経験のあるスタッフが通訳としてついて対応をさせていただいております。実際、スマ

	ートフォンの翻訳機能はものすごく進歩していまして何不自由なく対応ができたということもご報告させていただきます。 「26　LiBOON 運行業務」につきましては、毎週水曜日、金曜日に各公民館と学校へも運行しております。またイベントがあれば出張します。 「27　富津郷土資料等デジタル化業務」は現在、生涯学習課文化係とはなしが進んでおりまして、今年の４月から一部公開という計画をしております。 「28　図書館ホームページ・ＳＮＳの活用」は現在、Ｘの更新が 58 回、インスタグラムが 57 回、ホームページの更新が 60 回と、イベントごとに告知を出させていただいております。おそらく近隣の図書館と比べてもイベントが多く、そのおかげでホームページとかX、インスタグラム等のＳＮＳの更新が非常に多くなっております。 続いて 2024 年度にアンケートをしましてそのときのコメント内容を書かせていただいております。 その多くが本のリクエストや、図書館が綺麗だとかいうお褒めの言葉が多かったんですけども施設に関するものとか、利用者さんのマナーであるところにつきましてはこちらに書せていただいております。カート置き場を図書館のわきにつけていただいたりとかそういったところまでしていただいております。椅子については、館内の書架の間に椅子を置いて欲しいというものですけれど、カートを押せるようにしたおかげで、椅子を置くとカートが通りづらくなってしまうのと、避難通路になっていることもありますので検討しながら、置けるようであれば書架の間にも椅子を置いて、気軽に座っていただけるようにしたいと考えております。椅子は全部で 136 席ぐらいあるのですが、学生さんの試験週間が始まると椅子が埋まってしまうといったこともあって、書架の方でゆっくり読みたいという希望がございますので増設も考えていきたいと考えております。 続きまして支援事業。まず「１　富津連携事業」につきましては、図書館の外にギャラリースペースをイオンさん側は作ってくれましてここでベルテールさんの作品展示を季節ごとに行っております。飯野小卒業生のメッセージ展示から、今はねこネットさんの猫の展示に変わっております。 「２　団体貸出（学級文庫）」つきましては青堀小学校を除く７校につきまして定期的に毎月貸出しをさせていただいております。 そのほか「３　団体貸出」では 29 団体 2,609 冊の貸し出しをしております。 「４　図書館を支援してくれている各団体相互の連携支援」ではボランティア養成講座を毎年３月に実施させていただいております。今年度につきましても３月に開催予定という形で今、講師の方と日程を調整しております。 以上が当初、事業計画に載せておりました通年事業と支援事業の内容となります。 次以降が【期間事業】と【その他新規事業】で図書館が独自にやっている事業になります。

	「１　読書活動の推進」これは館内展示になります。館内展示につきましては毎月延べ 50 近くの展示で、毎月 10 から 15 の展示の入れ替えを行っています。 「２　開館２周年記念イベント」として昨年、３月 28 日から４月６日まで図書館開館２周年記念イベントをイオンさんと共催で開催させていただいて、図書館トートバッグの配布、落語会、映画会を行っております。期間中の来館者につきましては 5,114 人と通常時に比べて約 25%増となっています。 「３　イオンモールウォーキング」は全国のイオンモールの取り組みで、モールごとに景品が違うようですけどもイオンモールの中を 1,000 歩以上歩くと景品がもらえるというイベントとなっております。富津の場合はお茶の配布をしておりまして、それを図書館で配布しておりました。これは朝のうちに集中しますのでカウンターが混みあうということもあり、イオン側とお話をしまして２月 20 日で終了となっております。 ８ページ【その他新規実施事業】として 11 のイベントをスポット的に開催させていただきました。「８　読書通帳」「９　スタンプカード「10　折り紙金魚すくい」は、夏休み期間中のイベントとなっておりまして非常に参加者が多く、来年度につきましても同じようなイベントを開催していこうと考えております。 ９ページ、令和７年度図書館実施会議等ですが、全部で 18 の会議、延べ 150 名のスタッフが参加しました。 11 ページ【スタッフ研修その他】につきましては 17 事案、71 名のスタッフが参加しました。 令和７年度の事業の進捗については以上となります。
杉田会長	ありがとうございました。説明が終わりましたけれども、何かご質問ございますか。 では私の方から、１ページ「はじめてのおはなし会」は立ち見も出てと、すごいなと思いましたけどその対策はなにか。
須藤館長	詰めれば入りますが、小さいお子さんなので動いたりするため、ゆとりをもった状況になっています。
杉田会長	そもそも狭いのでしょうか。
須藤館長	だいぶ人気になってきまして、最初のうちは余裕があって、予定人数が 10 家族 20 名というイメージでいたので、ほぼ予定どおりの人数になってきたと考えておりますが、もしこれ以上増えるようであれば、回数を増やすっていうことは考えられると思います。
杉田会長	ありがとうございます。 他にいかがですか。皆さん。 私ばかりになりますけど「23　図書館アンケート」についてですけれど、まだ開館してそんなに長くないので、まだまだ市民の声を聞く段階なのではと個

	人的に思いますけど。
須藤館長	アンケートにつきましては、毎月やらせていただいております寄席の場で、アンケートをとっていて、その中でいろいろなコメントをいただいて、実施できるものは実施しています。
杉田会長	寄席というのは富津市立図書館のカラーができつつあるなってわくわくしているところですけど、そういう機会を利用して、図書館に対する市民の声を吸い上げてくださることを意識してくださっているのがとてもありがたいと思いました。アンケートを形通りの図書館アンケートではないところで生の声が聞こえたら私達も嬉しいと感じました。ありがとうございます。
米村委員	利用する場合ほとんど自動だから極端に言えばスタッフと接する必要がないんですよ。でも本がないとき、他の図書館から取り寄せてくれるとか、そういうやり取りの中で独特の温かみがあって、非常に優れているなと感じるんですよね。小さな図書館だけど見事だなと思いますし、専門性も感じますのでぜひ継続して行っていただきたいです。
重田委員	「おはなしのへや」の外側に向いている本棚のところに一時期マットを敷いてくださってましたが、きっとアンケートの声を聞いて試してくださったんだと思うんですけれど、どのような経緯でしょうか。
須藤館長	市民からの声で、「おはなしのへや」の中に１回入ると、外側に本を取りに行くためにまた靴を履かなければいけないのでなんとかならないかというのがありました。そこで試験的にマットを敷いてみましたが、外側にいる方が土足で上がってしまうのと、小さいお子さんが段差につまずいてしまって危ないということもあって、撤収をさせていただきました。
重田委員	アンケートの声をちゃんと取り入れて試していただいているのだなとそのとき感じました。でも危なかったんですね。ありがとうございました。
矢上委員	図書館には行けていないのですが、図書室でたくさんの本を借りさせていただいています。自分はリクエストをお願いすることが多くて、スマートフォンで申しこむと公民館にあるものは早々に届くし、図書館にあるものは、少し日にちがかかっても届く。もちろん図書館にいっぱい来てもらうという目標もあるでしょうが、やはり図書館から遠い人たちにとってはリクエストして届けてもらってものすごくありがたい。そういう利用が皆さんにもっと広げてもらえるといいなと思います。もう本当にありがたく思っております。 それから耳にした話で、一つは児童書に関して質問をすると、この頃はすごく詳しい方がいて、よく教えてくれてすごいよ、と言う話を聞きました。児童書に詳しい方スタッフがいてくれれば、というお話させていただいたことがあったと思いますが、ちゃんと実現できていてありがたいなと思っています。 これとは別に郷土資料コーナーで内裏塚のビデオを流していましたが、椅子に座って眺めたいなと思いました。 これは小学校との関係学校なのかもしれませんが、子どもたちが本を読むにはどうしたらいいのか、工夫が必要かと思って。親が本を好きか嫌いかという

	のもものすごく大きくて、それは図書館だけの問題ではなく、考えなければいけないだろうなと。親が関心を示すような方法をいつも考えているんですけど、例えば本の福袋に、親と子が読める本が入っている「親子の福袋」はどうかなとか、子どもが図書館や学校から本を借りていくときに、お母さんの分も、とか、今日はおじいちゃんの分とか借りていくのはどうかな、とか親の世代が本を見るような何かできないかなといつも思っています。 アンケートは基本的に義務ですかね。質問の仕方によって答えが決まってしまうので、視点を変えた質問をしていくと、答え方が変わってくるのかなって思うんですね。だから、今年は青堀小学校にアンケートしますとか、アンケートの仕方をちょっと変えていくこともいいのかなって思います。
須藤館長	予約についてですが、今まで富津市には図書館がなかったので、近隣の図書館を利用していて、近隣の図書館は市外の方は予約ができないですから、富津に図書館ができても予約ができることが知られていないのでは、と感じます。今、図書館の中で予約棚が全部で 60 ぐらいがあるんですが埋まっても 10 ぐらい。逆に新刊本やベストセラー本も図書館に来ればあるというのが今の図書館とポイントでもあるので、そういった相反するところなんですけれども、予約数を増やしていきたいと考えております。 また児童書につきまして、スタッフのスキルが変わってきたとの言葉をいただきましたが、こちらにつきましては、1 人 1 人が司書の資格を取るために勉強したり研修したりして学んでいますので、長い目で見ていただくと、どんどんスキルが上がっていきます。 郷土資料コーナーに椅子をということでしたが、あちらは生涯学習課文化係が設置しているコーナーですので、生涯学習課と相談をさせていただきます。 それから親子の福袋は、親が本を読む機会を増やすっていうことだと思いますけれども、これは私もそう思っていまして。自分もよく本を読んでもらった記憶があって、親から本を読んでもらった人は自分に子どもができたときも、本の読み聞かせをしてあげると思うんです。あんまり読み聞かせしてもらってないお子さんは、体験がないので、親になっても自分のお子さんに読み聞かせできない。これは絵本専門士さんがそのように話をしておりまして、でもそこは改善することができるので、まずは親御さんが自分が気に入った本をお子さんに読んでください。気に入らない絵本はいくら読んでもお子さんには伝わりませんっていう話をされていましたので実際そうだと思います。なので、そのためにも、図書館も来年度に向けて考えていきたいと思います。 それから、アンケートにつきましては、ターゲット別にしては、とありましたが、同じ質問を毎年続けてその変移を見るというのもアンケートの一つの特徴ですし、またターゲットを絞ってというのもあると思います。ですので、定例的なアンケートを同じ時期にやって、その他にスポットのアンケートを各学校ごとに、ある時期にやるというそういったところも含めて今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

杉田会長	ありがとうございます。 次に議題（２）令和８年度事業計画（案）について、事務局より説明をお願いします。
鈴木係長	議題（２）令和８年度受事業計画（案）について、詳細は引き続き須藤館長から説明をしますが、それに先立ちまして、１運営方針、２重点目標について改めてご説明をさせていただきます。 「第３期富津市まちひとしごと総合創生総合戦略」という市の計画は市の事業全てなのでおよそ 100 件弱の事業が載っております。図書館の運営事業もその内の一つで、自慢ができる地域力を高めるという市の要素の一つとなっています。この総合戦略で具体的な図書館事業の目標は、貸出券の登録率を掲げておりまして、令和６年度末では人口の 17%が貸出券を所有しているところです。今年度、まだ出ておりませんけれどもそれより上昇して 20%程度かと思われているんですが、今後も普及に努めて１年で３％ずつ、令和 10 年度末には 29%、人口の約３割の方が図書貸出券を持っているという状況を目標として設定をしております。また令和４年２月に策定した図書館整備基本計画の中で、基本コンセプトとして「気軽に立ち寄れる　出会い学び、憩いの場としての図書館」と定めておりますので、幅広い世代の日常生活に溶け込み、本と接する機会を提供する図書館ということを掲げておりますので、市民がより立ち寄ってくれる、というような視点からも、事業計画をご覧いただけたらと思います。続けて館長から説明をお願いします。
須藤館長	「３　運営体制」指定管理者につきましては、引き続き株式会社図書館流通センターが行わせていただきます。営業担当は澤田、エリアマネージャーの清水、館長の須藤の体制で運営ををさせていただきます。 「４　人事計画」今年度につきましては、スタッフ９名、計 13 名でスタートしております。１月までにスタッフ２名退社しまして、２名増員をしております。ただ、１名は３月末で定年退職を迎えるということもございまして来年度につきましては 12 名でスタートになる予定でございます。司書の有資格者については６名と、司書率は 50%となっておりますが、今スタッフ１人が予定では３月末で司書資格が取れることになりますので、来年度もう１名増えて７名という予定になっています。またその他のスタッフにつきましても、２名につきましては司書資格を取る勉強を始めていますので、時間はかかると思いますけれどもスタッフ一人ひとりさらに研鑽を積んでいます。 「５　研修」につきましては、館内での研修、図書館流通センターが実施する研修、それから県立図書館等で実施する外部研修、この３つがございまして、引き続きスタッフ一人ひとりのレベルアップを図っていきたいと考えております。 「６　その他事項（令和８年度休館日について）」ですが毎月最終月曜日は館内整備のため休館、ただしそこが祝休日にあたる場合は開館して、翌日火曜日を休館日にさせていただこうと考えております。それから年末年始の 12 月

	31日から1月2日の3日間を年末年始休館としております。特別図書整理期間は年10日以内とになっておりますが来年度につきましては9月24日から9月30日。こちらにつき特別整理期間として本の点検をさせていただきます。それから12月29日から12月30日、3月18日から3月19日の3回に分けて図書整理期間を設けさせていただいております。ですので年末年始につきましては、12月28日が館内整理日に当たりますので、12月28日から1月2日まで6連休となる予定でございます。 次のページ「7　自主事業」令和8年度の実施予定事業につきましては、令和7年度と大きな変更はございませんが、内容を見直した部分もございますので、そのポイントを絞って説明させていただきたいと思います。 項番13から16の「図書館だより」が来年度は内容が変わっております。 まず一般向けの「図書館だより」は隔月1回発行としましたが、5月は「ティーンズ特集号」として発行いたします。今年度は「ティーンズ特集号」と一般向けの「図書館だより」を別々に発行しておりましたが、内容が似通ってしまうことと、ティーンズは一般の本を選ぶこと、一般の40代から60代方も気軽なティーンズ向けを借りていきますので、合併号という形で一般向けの中にティーンズを含めたいと考えております。それから小さいお子さん向けの「図書館だより」ですが、今年度は0・1・2歳と3・4・5歳と分けて、年2回発行しましたが、半年に1回の発行ですと、内容が陳腐化してしまいますので、これを0歳から5歳向けにしまして、年4回と回数を増やしてタイムリーな情報を保護者の方々にも読んでもらうために、発行回数を倍に増やしていく形で検討をさせていただいております。それから小学生向けの情報発信でが、今までは1・2年生向け、3・4年生向け、5・6年生向けという3つに分けておりました。これを1・2年生向けと3から6年生向けで分けさせていただいております。この理由につきましては、図書館見学で来ていただいておりに、3・4年が背伸びをした本を借りていくということがありまして、3・4年生向けというよりは少し上の年代はこういう本を読むんだよっていうことをわかった方がいいのかなと思いまして、3・4年生向けの本も載せますけど、お兄さん・お姉さんたちが読んでいる本はこういうものだよ、というのがわかるような内容でその分ボリュームを厚くしまして「図書館だより」を発行させていただきたいと考えております。 「19　つくろ。まなぼ。あそぼ。」は毎月、寄席を開催させていただいておりましたが、こちらにつきまして、イオン側から提案がございまして、やはりこの30%のキャンセルの対策を演者さんとも話をしたようなんですけれども、前売券のようなもので有料化にすると当日キャンセルはないだろう。それと、毎月開催してるから、今月行かなくても来月またあるからというところで気軽にキャンセルされる。連絡をいただければいいんですが、ほとんど来ないので、そこのところで、イオンさん側からこういった2つの提案をいただいております。そこで、この1月に寄席に来ていただいた方に有料化はどうかと、年4回

	の開催を説明させていただいて、ご意見をアンケートでいただきました。その結果、100 名のアンケート回答がございましたが、1 名のみ有料化には反対で、ほかの方は1,000 円でもいいから継続して開催をしてくださいという要望でした。ですので、来年度につきまして、この年４回の開催は決定しておりますが、有料化については、どうお金を受け取るかが課題になっていまして、できる限り無料で開催をして、その代わりキャンセル対策として、今は事前予約制になっておりますが、当日整理券の配布という形で、まず４月のイベントは開催してみてその様子を見て、７月、10 月がどうするのかと考えていきます。
米村委員	有料化の場合、お金を入れたら予約券が出てくるような自動化ができないのかなと思います。
杉田会長	すみません、ご意見は後ほど伺うことにしてよろしいでしょうか。次をお願いいたします。
須藤館長	「20　図書館アンケート」につきましては、来年度は実施をさせていただきます。あとは今年度の事業とほぼ変更はございません。 米村委員のコメントに対してですが、予約機につきましては、導入するとなるとそれなりの費用も時間もかかりますので、まず４月に試しに無料で整理券制でやってみて、その結果をもってその先のことを考えていきたいと思っております。まずは４月やらせてください。
杉田会長	事務局からの説明は以上でよろしいでしょうか。 それでは委員の皆さん意見がありますか。財前先生、学校からの意見が聞けたらありがたいですけど。
財前委員	図書館だよりの学年わけについて、非常にいいかなと思います。
杉田会長	ありがとうございます。 では次第４　報告に移らせていただきます。 第２回図書館協議会及び自主勉協会について、事務局がまとめたものがございますが、何か補足とかありますか。財前先生は参加しにくい状況だと思いますので、その中で何かご興味のあるようなことがあったら後からお話いただけたらありがたいです。 この見学は大きいヒントがあったなって思いました。というのはその後の帰りの車中でいろんな思いをいただくことができました。自主勉強会をしたいっていうご意見いただいて、それこそ求めていたところだと思って実行に移しましたが、唐突だったなって思われた方や、もう少し期間があったら自分も調整して参加できたのにという思いの方もいたのではないかと反省もありますが、参加してくださった方ありがとうございました。また移動研修を決定するにあたって、どんな図書館が候補に上がったのかというご意見をいただいていましたので、まとめていただきました。何か皆さんの図書館の勉強の一助になればと思います。藤井先生、重田さん、参加していただいた中で、補足とか何かありますか。

藤井委員	参加させていただいて、自由にいろいろなことを話せてよかったなと。その時にもお話ししましたが、図書館というと、安心、安全な環境でほっとするひと時を過ごせていいなと思って利用させていただいているんですけれども、入口に向かって座って利用できる環境じゃなくなってしまったので、自分の後ろに人が立ったときに恐怖を覚えたっていうお話をさせてもらったんですけれども。それは富津公民館と市民会館の図書室でだけなんですけれども、気になってお話させてもらいました。 もう一つ市民会館をよく利用させていただくんですが、机と椅子のバランスが気になって、測ったったんですが、普通、床から机は 70 センチぐらい、椅子は 40 センチぐらいなんですが市民会館の机の高さは 75 センチあるんですよ。私は背が低い方ではないんですけども５センチ違うと、目とノートや本の距離が近すぎて、高さをもうちょっと考えていただけたらなと思って、今日お話させていただきました。
重田委員	自主勉強会について、帰りのバスの中で、せっかく見学に行ったので、お勉強の定着ができるといいなと思って。バスの中だけだと聞こえなかったりで、もう少し時間があるといいですよねって話をして、急遽だったので人が少なかったんですけれども、今後、もしこのように、どこか出掛けるような機会があるのでしたら、振り返りができたらよいと思います。
杉田会長	重田さんからお話もありましたけれども、自主勉強会という形で開催させていただいたんですが、印象に残ったのが米村さんの脳活に対する情熱といいますか、知識の豊富さがすごいなって。こういう先輩がいらっしゃるので、まだまだ私達ももっともっと勉強しなきゃいけないなって思いました。
米村委員	藤井さん、目が疲れるとか市民会館にリクエストはされませんでしたか。早く改善するためには問題を早く把握してもらうためにも。
杉田会長	いま、長谷川館長さんもいらっしゃるし、ちゃんと意見は耳に入っていると思います。
長谷川館長	今藤井委員のお話を拝聴しました。意見を承りまして、生涯学習課とも協議して対応を検討してまいりたいと思います。
杉田会長	図書館のことをこれから皆さんの意見をもっといただけるようにするには、定例会のような、回数、時間も決められて、内容も決められた中では出てこないような話し合いができる、あくまでも自主ですが、ご都合のついたときとか、強いご意見を持ったときにでも、タイミングよくお話を伺えたら、次に協議会に生かせることができるんじゃないかなというふうに、私個人では自主勉強会はやっていただけたらなというふうに思いますが、皆さんはどうですか。
吉田委員	（自主勉強会には）子どもの大会とかぶったりで参加できなかったんですけど、その勉強会を開催するにあたって時間を割くのであれば、意味ある時間にしたいので、もし開いていただけるのであれば、こういうことに対する自主勉強会をしますという目的が欲しいです。
杉田会長	図書館協議会の中で開催される自主勉強会なので、図書に関わる、図書館だ

	けでなく、富津市では図書館がない歴史が長いので、公民館他の本に関わる場所や人、全部合わせて考えたら、皆さんそれぞれのご意見をいっぱい持ってらっしゃるので、どういう取り組みができるかなと思うんですけど。
矢上委員	この協議会は、お金もかかってくることだし、そんなに何度もやれることでもない、お勤めされてる方もいるし、なかなか出席するのは大変。だとすると、やっぱり、不足分を話すっていうのと図書について話していこう、っていうと、また目的がちょっと違うかなって。自主勉強会っていう言葉だけではどうしたらいいんだろうっていう気もするんですけど
杉田会長	何かテーマがある勉強会だったら自分もちゃんと考えて、そこに向かうことができるしという意見と、矢上さんのご意見は自主勉強会の内容で書いてあることはこの協議会で話し合ってもいいことだよねと。だけど、自主勉強会で聞けた意見だったから協議会に持ってこられたって私は受け止めるところがあるんですけど。
矢上委員	３回の協議会で話しきれないことを自主勉強会で補っていきましょうということなのか、全く別なものなのか、その辺がよくわからないなと。
増田委員	前回は記憶が新しいうちにいろいろ感想を話し合うという話になって、そうじゃなくてもそうでも、協議会の間が空いてしまって、話し合いたいことがあったら自主勉強会があったらという感じだったら賛成です。
米村委員	意見はありません。すいません。
杉田会長	委員の皆さんが、求めるもので今年度末で、１回でもやれたので、そこで皆さんに一応お諮りしたいなということでした。
重田委員	問題が二つあって、今回勉強会をしたのは、第２回の研修会が内容がすごく感動的だったんだけど、帰りのバスの中だけでは意見が集約できなかったし、バスに酔ったり音がうるさかったりとかで、きちんと言うことが出来なかったので、まだ記憶が新しくて、せっかく金もかけて時間をとって行ったのにそれぞれの思い出の中に過ぎてしまっていいんだろうかと思ったのです。それについて何か話ができてまとめられたら一つのものになるんじゃないかということで、これだったら研修会に付随する勉強会だからいいんじゃないか。もう一つは、個人のいろんなものを深めていこうっていう自主勉強会であるのならば、それが図書館協議会でやるのはちょっと違ってくるんじゃないか。もしまた研修会があるのなら自主勉強会をする時間を取る必要がないように、今回やったことの定着ができる振り返りができる会みたいなものに時間が取れるスケジュールだったら、自主勉強会はもしかしたらいらないのかも知れないっていうことかな。
杉田会長	次年度に向けて、この協議会の内容を生涯学習課ともっと詰めなきゃいけないなっていう自分の反省もあります。形だけ時間を割く会議よりも、前に重田さんと、例えば会議が終わった後でもうちょっと話し足りないとき時間が取れれば、残った人だけで話すこともできるよね、みたいな立ち話的に話したことも思い出しました。何かまたそういうことも含めて生涯学習課の方と相談して

	みたいと思います。なかなかまとまらなくて申し訳ありません。 　その他、何かある方。
矢上委員	私が心配なのは、どうなるのかなって思いながら心配をするんですね。あと２年ってすぐで、あっという間だなって。図書館は私にとっては意味のある図書館であって、ぜひ協力したいなと思うんですが、他の地域は、何年もかけて図書館について話し合ってきていることを考えると、それは図書館の問題っていうよりは、むしろ市なのか、これからどういうふうに考えていったらいいのかなっていう不安があるので、来年度、またお考えを聞きたいなって思います。
米村委員	藤井さんが感じたことは、何か改善しなければいけない項目に上げておかなきゃいけませんね。リニューアルをしたばっかりだからすぐにはないでしょうけど、大事にしなければいけない意見だと思うんですけど。 　それから図書館 café に仲間を誘ったんですが、場所が図書館前のとてもオープンな場所で、行ったけど入るのはやめたと。脳活というのに参加している自分を見せたくないという心持ちを理解していただいて、今年もやっていただけるんだったら、場所のご検討をお願いいたします。
杉田会長	ありがとうございました。 　それでは、委員の皆さん、何か他になければ事務局お願いします。
鈴木係長	この会議年間３回の予定となっておりまして、次回会議なんですけれど通例に従って６月頃の予定と今の時点では考えております。詳細な日程などは、また改めて通知を出させていただきますのでご承知おきくださるようお願いします。
杉田会長	それでは、長い時間ありがとうございました。これで全ての議事を終了いたします。 　皆さん、円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございました。 　それでは、進行を事務局にお返しします。
篠田課長	本日は長時間にわたり貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。 　以上をもちまして、令和７年度第３回富津市図書館協議会を閉会といたします。 　ありがとうございました。